

5.4.4 愛媛（現地確認結果）

(1) 現場番号 187

【コメント】

崩壊・根系） 現地調査の崩壊深度から 1.5～2m 程度と想定される。根の伸長は 0.6m 程度である。土検棒では薄くしか測定されないのは、レキが表土直下の土壌に含まれているからである。

森林・施業） 森林簿には 2005 年施業と記述されている。林内の路網の状態や空中写真から考えれば、その後ここ 5 年以内にもう 1 回の間伐が行われたと想定される。民有林の森林簿から、施業を整理することは困難であり正確な情報は所有者にヒアリングしなければならない。

植栽配列なども含めて調査すると立木密度は 1,400 本/ha 相当で LP の値と近い。LP が現地と近い値になるのは間伐後まもなく樹冠が疎な場合である可能性が高い。

その他） 民有林の森林簿の更新年が災害前であった。

災害後オルソ

崩壊地_187

① 変壊 崩壊地抽出 比較候補地
 ② 変壊 崩壊地抽出 調査候補地

0 5 10 20 30 40 50
 m

微地形図（災害前）

変壊 崩壊地_187
小班名: 762_□_2_9_2

① 変壊現地調査 比較対象地範囲
 ② 変壊現地調査 崩壊地範囲

0 5 10 20 30 40 50
 m

崩壊地全景

源頭部の崩壊深度は 3m
根系の伸長深度は 0.5m ほど

小班	762_□_2_9_2	
樹種	ヒノキ	
林齢	36	
最終施業年	2005	
崩壊幅	15.4	
崩壊延長	17.2	
崩壊面積	216.4	
尾根谷度	平均	-5.8
傾斜	平均	29.7
雨量	72時間	367.8
地質	砂岩頁岩互層（四万十帯・中生代）	
森林土壌	森林簿	適潤性褐色森林土

		LP	現地
崩壊深度[m]	源頭部	0.3	3.0
	平均値	2.1	
	中央値	1.9	
	最大値	5.6	
	根系深度		0.5
土検棒	平均		0.4
	最大		1.1
LP	平均胸高直径[cm]	17.9	18.1
	平均樹高[m]	12.5	11.2
	立木密度[本/ha]	1,300	1,410
	断面積合計[m ² /ha]	32.7	36.3